



簡 単 嫌 気 培 養

アネロパック®

嫌気培養

アネロパック®・ケンキ / アネロパウチ®・ケンキ
嫌気指示薬

微好気培養

アネロパック®・微好気 / アネロパウチ®・微好気

炭酸ガス培養

アネロパック®・CO₂ / アネロパウチ®・CO₂

培地保存

アネロパック®・キープ / アネロパウチ®・キープ

嫌気培養

酸素濃度0.1%以下

炭酸ガス濃度15%以上

アネロパック®・ケンキ
アネロパウチ®・ケンキ

*白い紙包材の表面に褐色～黒色のシミが発生する場合がありますが、使用期限内であれば酸素吸収・炭酸ガス発生性能への影響はございません。



アネロパック・ケンキ

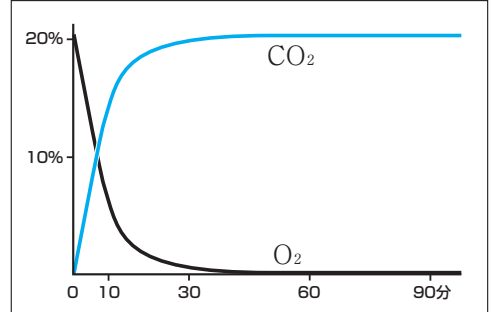


アネロパウチ・ケンキ



アネロパック・ケンキ(3.5L)

■アネロパック®・ケンキ によるガス濃度変化の例



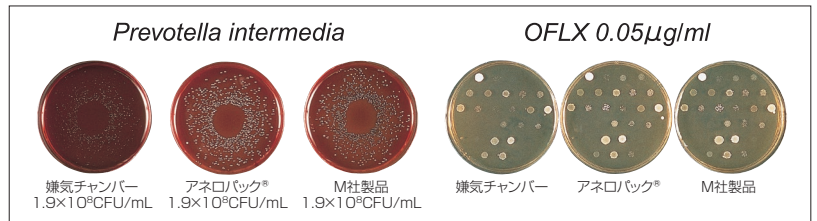
容量(L)	角型ジャー				パウチ袋	
	大型	3.5L	標準型	薄型	Wチャック付スタンディングパウチ	Wチャック付パウチ袋または専用パウチ袋
アネロパック・ケンキ(中/3.5L)		1個				
アネロパック・ケンキ	3個		1個		1個	
アネロパック・ケンキ10%			1個			
アネロパック・ケンキ5%			1個			
アネロパック・ケンキ(高温菌用) ※					1個	
アネロパウチ・ケンキ				1個		1個

※ 45℃以上での嫌気培養にご使用ください。

45℃以上での試験用には

アネロパック®・ケンキ(高温菌用)

をご使用ください。



(写真提供:NTT東日本関東病院臨床検査部、(株)ビー・エム・エル)

炭酸ガス濃度7～15%

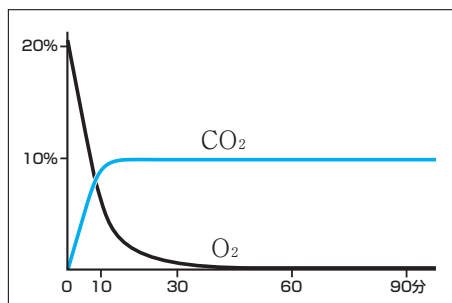
アネロパック®・ケンキ 10%

炭酸ガス5%前後を
5時間維持

要冷蔵保存

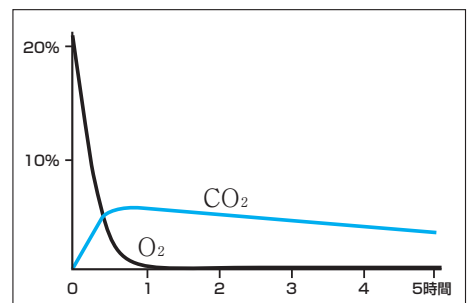
アネロパック®・ケンキ 5%

■アネロパック®・ケンキ 10% によるガス濃度変化の例



●アネロパック®・ケンキよりも低濃度の炭酸ガスを発生します。

■アネロパック®・ケンキ 5% によるガス濃度変化の例



●用途:嫌気性菌の培養、細胞の低酸素実験など。
●CO₂濃度は約5時間維持され、その後低下します。

微生物培養

酸素濃度6~13%、炭酸ガス濃度2.5~9.5%

アネロパック®・微生物
アネロパウチ®・微生物

*青い紙包材の色が抜けたようになり、部分的に白く見える場合がありますが、使用期限内であれば酸素吸収・炭酸ガス発生性能への影響はございません。



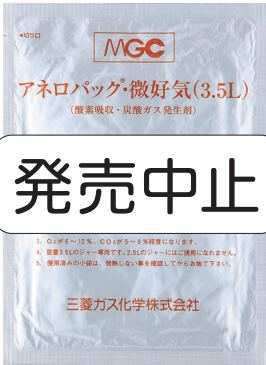
アネロパック・微生物



アネロパウチ・微生物(パウチ袋用)



アネロパウチ・微生物(薄型ジャー用)



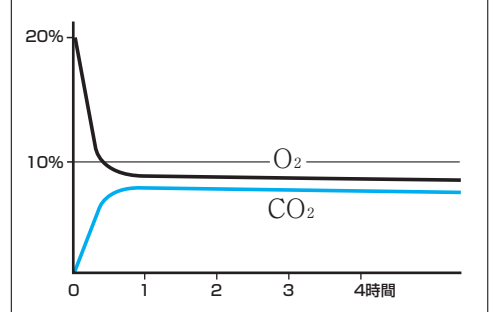
アネロパック・微生物(3.5L)



アネロパック・微生物(7L)

発売中止

■アネロパック®・微生物によるガス濃度変化の例



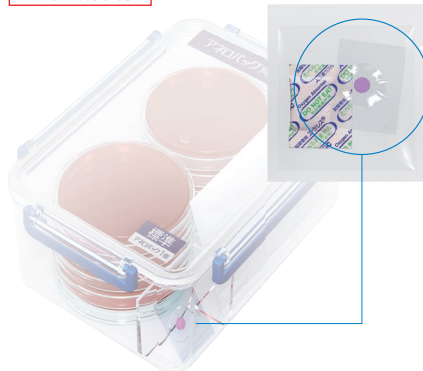
吸収した O₂ よりも少量の CO₂ が発生します。容器内はやや減圧され、ジャーの場合フタは少し開けにくくなります。

容量(L)	角型ジャー				パウチ袋	
	大型	3.5L	標準型	薄型	Wチャック付スタンディングパウチ	Wチャック付パウチ袋または専用パウチ袋
アネロパック・微生物(7L)	1個					
アネロパック・微生物(3.5L)		1個				
アネロパック・微生物			1個		1個 ※1	
アネロパウチ・微生物(薄型ジャー用)				1個		
アネロパウチ・微生物(パウチ袋用)						1個 ※2

※1 必ずジャーレックを併用してください。
※2 パウチ袋の組み合わせで使用する場合は、必ずジャーレを2枚入れてください。1枚だけ培養する場合でも、空のジャーレをもう1枚入れてください。

嫌気指示薬

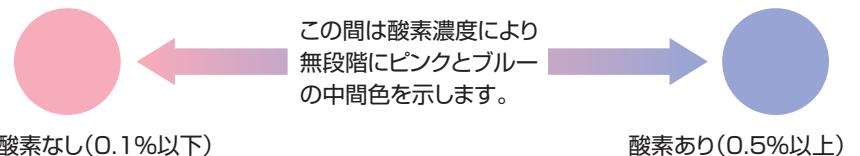
要冷蔵保存



酸素の有無を色で確認できます。

- 角型ジャーの気密性確認のため、アネロパック(パウチ)・ケンキには嫌気指示薬のご使用をお勧めします。
- 常温便にお届け致しますが、到着後は直ちに冷蔵庫に入れ、15℃以下で保存してください。
- 嫌気指示薬のフィルム窓には小さな針穴が開いています。この針穴からガスが透過しますので、このままお使いください。
- 錠剤をフィルムから取り出して使わないでください。
- 嫌気指示薬の色変化は可逆ですが、変色能力が徐々に低下しますので再使用はできません。

アネロパック・ケンキ(高温菌用)、アネロパック・ケンキ5%には不向きです。



※印刷物なのでピンクとブルーの色は実物とは若干異なります。

炭酸ガス培養

炭酸ガス濃度 約5%

アネロパック®・CO₂
アネロパウチ®・CO₂



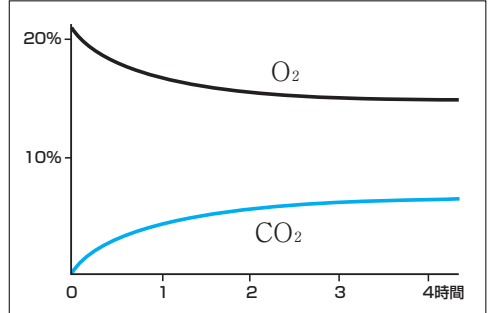
アネロパック・CO₂

●角型ジャー(薄型)にもご使用ください。



アネロパウチ・CO₂

■アネロパック®・CO₂によるガス濃度変化の例



	角型ジャー				パウチ袋	
	大型	3.5L	標準型	薄型	Wチャック付スタンディングパウチ	Wチャック付パウチ袋または専用パウチ袋
容量(L)	7	3.5	2.5	0.4		
アネロパック・CO ₂	3個	1個	1個		1個 ※1	
アネロパウチ・CO ₂				1個		1個 ※2

※1 必ずシャーレラックを併用してください。

※2 パウチ袋の組み合わせで使用する場合は、必ずシャーレを2枚入れてください。1枚だけ培養する場合でも、空のシャーレをもう1枚入れてください。

使用上のご注意

(ケンキ・微好気・CO₂共通)

●アルミ袋を破るとすぐに反応が始まります。内袋を取り出してから検体とともに密閉するまでの作業を、速やかに行ってください。(ジャー用…1分以内、パウチ袋用…30秒以内)



廃棄方法

- 未使用品を廃棄する場合は、アルミ袋より取り出し、実験台の上などに重ならないように広げて30分ほど放置し、発熱が収まったことを確認してから捨ててください。
- 使用済品は、余剰能力のため発熱することがあります。嫌気ジャー / 袋などから取り出し、実験台の上などに重ならないように広げて30分ほど放置し、発熱が収まったことを確認してから捨ててください。オートクレーブ処理を行う場合は、発熱が収まってから実施してください。

培地保存

培地の脱酸素保存用

●袋ごと冷蔵庫で保存できます。嫌気チャンバーでの保存に比べ、高温による培地の乾燥もありません。



スタンディングパウチ用
アネロパック®・キープ

大量保存用
1セット(=2個)の脱酸素剤でφ90mm
シャーレが14枚まで



■スタンディングパウチでの保存

- 空気を追い出して袋の上部を密閉クリップで閉じてください。

角型ジャーにはご使用になれません。



専用パウチ袋用
アネロパウチ®・キープ

少量保存用
1個の脱酸素剤でφ90mmシャーレ
が6枚まで



■専用パウチ袋での保存

- 空気を追い出して密閉クリップで閉じてください。

薄型ジャーにはご使用になれません。

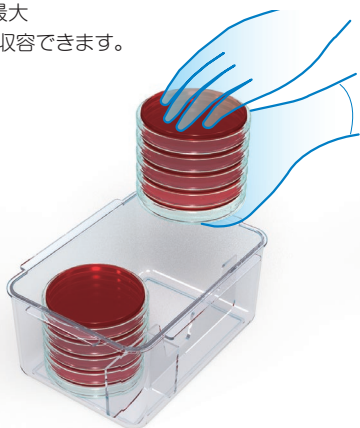
アネロパック・アネロパウチ 容器へのセット手順

アネロパック (ケンキ・微好気・CO₂) と角型ジャー

ジャーは、培養するシャーレの枚数に応じてお選びいただけます。

1 シャーレを入れる

標準型には最大
6枚×2列を収容できます。



▶ 2 アルミ袋を開封する

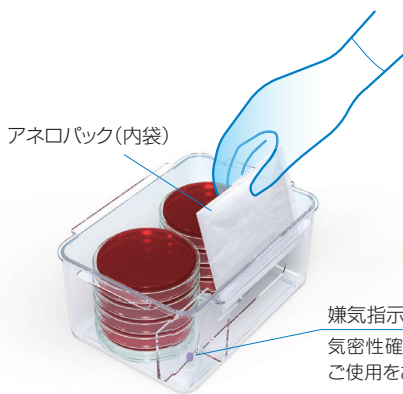
アルミ袋を手で開封し、
内袋を取り出します。



すぐに反応が始まります。
速やかに3、4へ。
(密閉が終わるまで1分以内)

▶ 3 内袋を入れる

間仕切り部分に内袋を入れます。



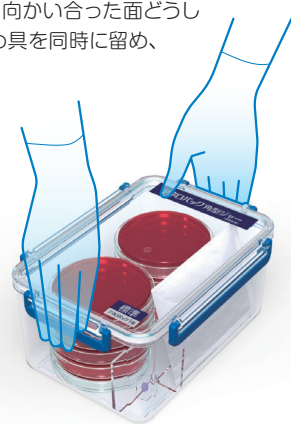
アネロパック(内袋)

嫌気指示薬

気密性確認のため嫌気指示薬の
ご使用をお勧めします。

▶ 4 密閉する

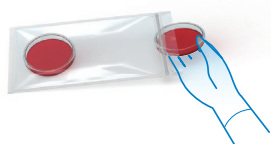
長辺・短辺の順に、向かい合った面どうし
(左右・上下)の留め具を同時に留め、
密閉します。



アネロパウチ (ケンキ・微好気・CO₂) とパウチ袋

1 シャーレを入れる

シャーレ2枚用です



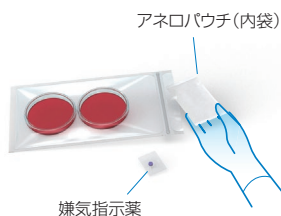
2 アルミ袋を開封する

速やかに3、4へ。
(密閉が終わるまで30秒以内)



3 内袋を入れる

嫌気指示薬のご使用をお勧めします。



アネロパウチ(内袋)

嫌気指示薬

4 密閉する

チャックをしっかり留めます。

